

第74期中間期 株主通信

2024年1月1日 → 2024年6月30日

証券コード：4248

資源循環型パッケージング
カンパニーを目指し、
豊かで楽しい生活の創造に向け
挑戦と進化をつづけてまいります。



代表取締役社長
竹本 笑子

トップメッセージ

株主の皆様には、平素より格別のご高配をいただき、厚く御礼申し上げます。

当社グループは化粧品やトイレタリー用品、食品向けなどのお客様の商品の価値を高める容器を提案しており、特に当社が開発したスタンダードボトル（容器）をご利用いただくことで、多額な費用や開発期間をかけることなく、必要な容器を必要な時に必要な数だけ提供しております。

また、世界的な環境意識の高まりの中、石化由来原料の使用量を削減する「循環型社会」の実現へ向けた取組みが求められるようになっております。当社グループでは、バイオマス素材やリサイクルされた原材料を使用した容器、付替・詰替などの機能により繰り返し使用できる容器などの「資源循環型パッケージング」をスタンダードボトルとしてラインナップすることにより、多くのお客様にご利用いただくことを目指しております。

今年、スタンダードボトルを製作するための金型数が4,000型を越え、2024年6月末には日本、中国、インドの合計で4,038型となりました。世界中で品揃えを充実させ、多くのお客様にご利用いただけるよう、2030年には5,740型のスタンダードボトル金型を保有することを目指しています。引き続きデザイン性や機能性に特徴を持つ容器を開発することで、より多くのお客様にTAKEMOTOをご利用いただき、2030年の売上高目標300億円を達成したいと考えています。

2024年上半期は、日本国内においては昨年5月に新型コロナウイルスの感染症分類が見直されたことで社会経済生活の正常化が進み、化粧品や日用品の消費量が増加しており、食品向けを含めた容器需要は拡大しております。さらに、当社営業部門において、従来からの提案型営業に加えて、お客様のニーズにきめ細やかに対応する営業活動を展開したことで受注金額、売上高を大きく伸ばすことができました。

海外市場では、中国国内は消費者の節約志向が一段と強ま

り景気回復の兆しが見えにくくなっている中、同業他社との競争が激化しております。この現状への対応策として生産面ではさらなる品質向上と工程の機械化を行いランニングコストの削減を進めています。営業面では既存顧客に対する接触強化や化粧品以外の業種への活動拡大により売上拡大を目指しています。

また、化粧品市場の成長が著しいインドでも新たな容器供給事業者の参入があり、競争は激しくなっていますが、スタンダードボトル金型の品揃えと少量からの加飾対応の優位性を持つ当社製品に対する評価が浸透してきており、現地企業との取引は対象社数、金額ともに増加しています。今後は製品品揃えをさらに充実させること、増加する需要への供給体制の強化など、インドでの設備投資を進め、業容のさらなる拡大を図ってまいります。

なお、昨年秋に欧州市場でスタートしたEC販売はヨーロッパで開催した展示会も契機となり、お客様からの引き合いが増えてきております。

これらの活動の結果、2024年第2四半期は売上高77億92百万円（前年同期比8.9%増）、営業利益5億2百万円（前年同期比128.1%増）、経常利益4億95百万円（前年同期比72.2%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は3億円（前年同期比129.2%増）と前年実績を上回りました。通期の業績目標も達成できるよう、営業・生産・開発の各業務をしっかりと進めてまいります。

株主の皆様に対する2024年中間配当金につきましては、従来からの配当方針どおり純資産配当率4.0%として1株につき18.00円を実施させていただきました。期末配当金についても同様に実施したいと考えております。

当社グループの使命は「世界の器文化への貢献」です。環境問題が注目されている今こそ資源循環型パッケージングの開発に力を注ぎ、お客様にStandoutなパッケージングソリューションを提供していくことを社員一同一丸となって取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

以上

Cosmoprof Bologna 2024

2024年3月21日～24日にイタリア・ボローニャで開催された展示会 (Cosmoprof Bologna 2024) に出展しました。

化粧品向けの資源循環型パッケージングとして、シンプルでも際立つ特徴がある製品、付替・詰替により繰り返し使用できる製品や、2023年秋に開設した欧州でのECサイト (Store) を紹介、来場者から展示内容を高く評価いただきました。

ご来場いただいたお客様へ継続的な接触を行い、欧州でのさらなる売上増加へ取組みを進めております。



中国美容博覧会 2024

2024年5月22日～24日に中国・上海で開催された中国美容博覧会2024に出展しました。

お客様との価値創造の共創とサステナビリティをテーマとして、化粧品顧客に向けて新製品やリサイクル材料を使用した製品を紹介しました。

中国経済の回復が遅れている中でも、新規参入手続きの簡素化等で化粧品事業者数は増加しております。

ご来場いただいた新しいお客様との商談も進めております。



食品向け容器カタログを発刊しました



食品向け容器の売上拡大・販売強化を目指して専用カタログを発刊しました。

当社では安心安全な容器の提供を行っており、創業時から食品向け分野でも数多くの容器をご利用いただいています。

このカタログでは容器探しの利便性を高めるため、ドレッシング・健康食品やサプリメント・ジャムやはちみつなどの用途別に製品を掲載したほか、熱充填対応・セキュリティ機能・メール便配送への対応などの特徴も紹介しています。

配当について

2024年12月期の中間配当金について、お知らせいたします。

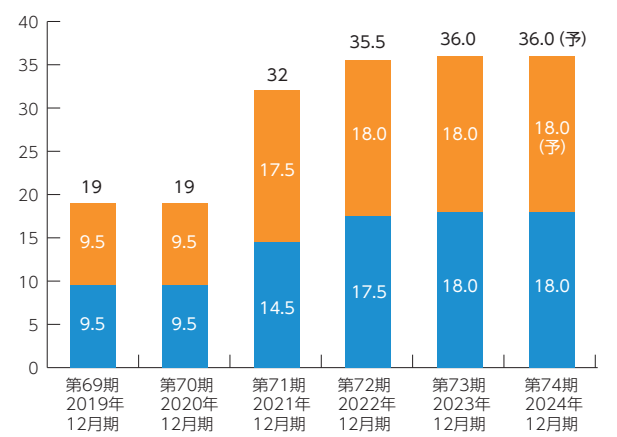
《当社の配当方針》

当社は、2024年までの期間の配当に関しては安定的な株主還元を実現する観点から純資産配当率 (DOE) 4.0%を目途とすることにしており、2024年6月末株主に対する中間配当金は、1株当たり18円00銭とさせていただきます。なお、2024年12月期期末の配当金は1株当たり18円00銭を予想しており、年間配当金は36円00銭とさせていただきます予定です。

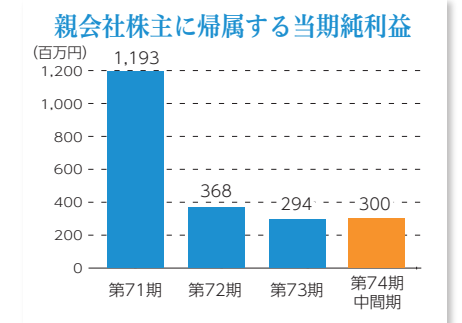
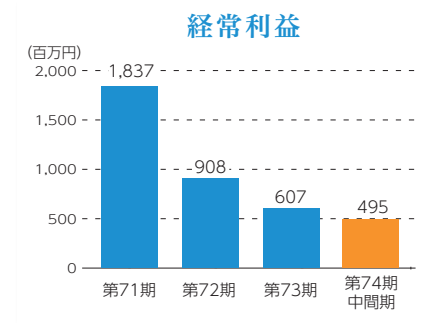
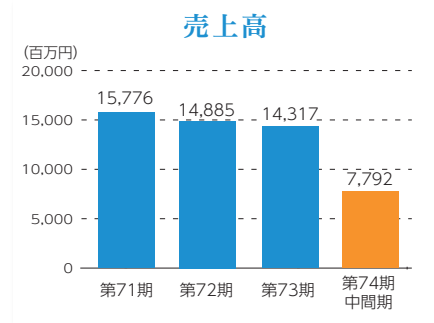
1株当たり配当金の実績と予想

	年間配当金		
	中 間	期 末	合 計
当期予想 (2024年12月期)	—	18円00銭	36円00銭
当期実績 (2024年12月期)	18円00銭	—	—
前期実績 (2023年12月期)	18円00銭	18円00銭	36円00銭

1株当たりの配当金の推移 (円)



連結業績の推移



連結財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円)

科 目	第73期 2023年12月31日	第74期中間期 2024年6月30日
【資産の部】		
流動資産	10,581	11,323
固定資産	7,338	7,345
資産合計	17,919	18,669
【負債の部】		
流動負債	4,282	4,635
固定負債	2,626	2,336
負債合計	6,909	6,971
【純資産の部】		
株主資本	9,714	9,810
その他の包括利益累計額	1,247	1,837
新株予約権	49	49
純資産合計	11,010	11,697
負債純資産合計	17,919	18,669

連結損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科 目	第73期中間期 2023年1月1日～ 2023年6月30日	第74期中間期 2024年1月1日～ 2024年6月30日
売上高	7,156	7,792
売上総利益	1,872	2,195
販売費及び一般管理費	1,652	1,692
営業利益	220	502
営業外収益	78	22
営業外費用	10	29
経常利益	287	495
特別損失	0	0
税金等調整前中間純利益	287	494
法人税等	156	193
親会社株主に帰属する中間純利益	131	300

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科 目	第73期中間期 2023年1月1日～ 2023年6月30日	第74期中間期 2024年1月1日～ 2024年6月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	974	952
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 845	△ 470
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,003	△ 552
現金及び現金同等物に係る換算差額	129	251
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 745	181
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,623	5,662

会社概要／株式の状況 (2024年6月30日現在)

会社概要

商号 竹本容器株式会社
Takemoto Yohki Co., Ltd.
設立 1953年（昭和28年）5月19日
代表者 代表取締役社長 竹本 笑子
所在地 東京都台東区松が谷二丁目21番5号
資本金 8億342万1,725円
事業内容 容器の企画・開発・製造・販売

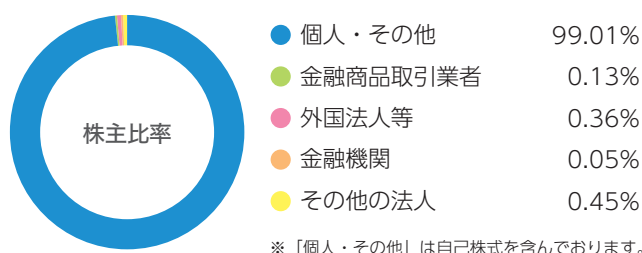
役員

代表取締役社長 竹本 笑子
常務取締役 深澤 隆弘
取締役 柳原 光浩
取締役 中川 正人
取締役 北内 和久
社外取締役（監査等委員） 穴田 信次
社外取締役（監査等委員） 田中 達也
社外取締役（監査等委員） 小川 一夫
社外取締役（監査等委員） 江野澤 哲也

株式情報

発行可能株式総数 40,997,600株
発行済株式の総数 12,529,200株
株主数 16,570名

株式分布状況



株主メモ

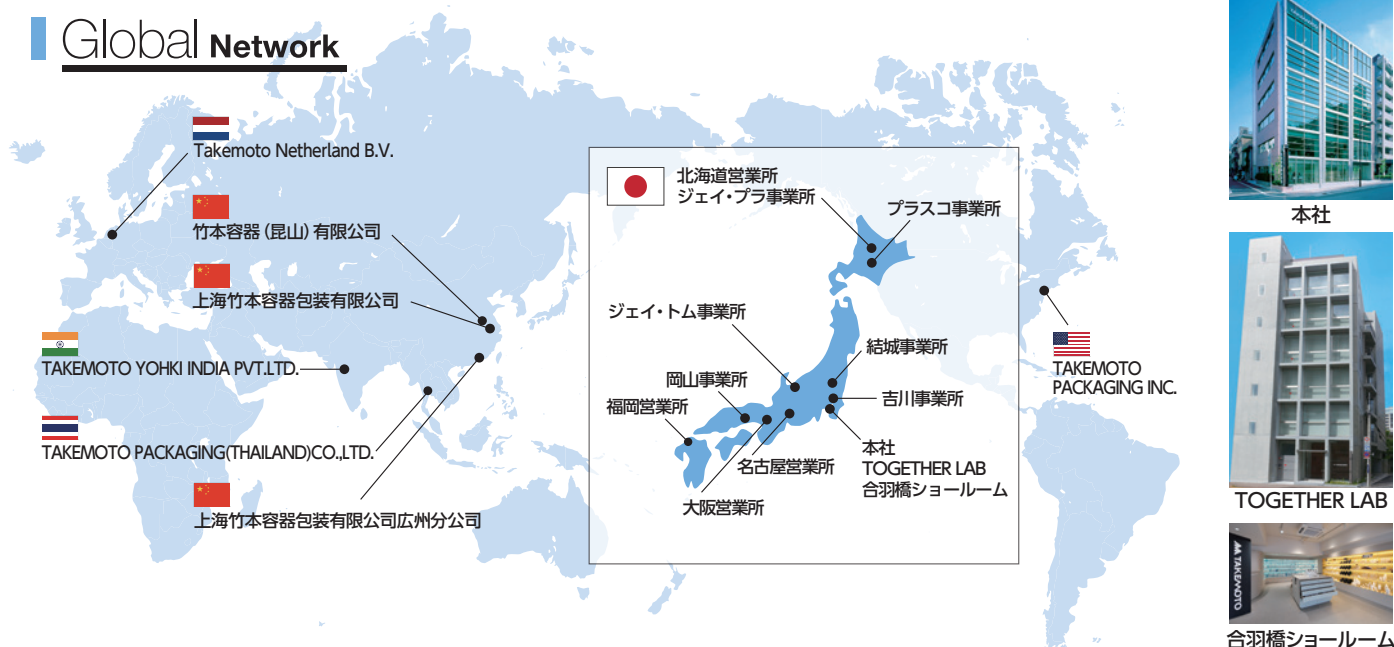
事業年度 1月1日から12月31日まで
期末配当金受領株主確定日 12月31日
中間配当金受領株主確定日 6月30日
定時株主総会 毎年3月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
（同連絡先） 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話0120-232-711（フリーダイヤル）
上場市場 東京証券取引所スタンダード市場
公告の方法 当会社の公告方法は、電子公告としております。電子公告は当社ホームページに記載しており、そのアドレスは以下のとおりです。
<https://www.takemotokk.jp>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

大株主（上位 10 名）

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
竹本 笑子	2,870,000	23.82
竹本容器若竹持株会	653,200	5.42
竹本 えつこ	618,200	5.13
深澤 隆弘	535,400	4.44
竹本 雅英	426,000	3.54
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	345,500	2.87
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	267,700	2.22
深澤 英里子	220,000	1.83
竹本 力	200,000	1.66
山本 勝人	158,000	1.31

（注）持株比率は、自己株式（482,304株）を控除して計算しております。

Global Network



竹本容器株式会社

<https://www.takemotopkg.com>



見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。



この株主通信は地球環境に
配慮した植物油インキと
FSC®森林認証紙を使用し
ております。

〒111-0036 東京都台東区松が谷二丁目21番5号 TEL：03(3845)6107(代表)